

授業アンケート2022

*一部学内限りのデータは非表示にしています

2023/09 教学マネジメントセンター

本調査の概要

- **授業改善を目的**とし、兵庫県立大学に通う学生を対象としたアンケート調査を実施
- 本調査を通じて、「**教育機関としての改善**」を検討し、教育の質を向上させることを目指す

本調査の基礎情報

調査対象

兵庫県立大学在校生
アンケート配当授業コード数
2,237*

調査目的

教育内容やその効果等の評価
を行い改善策検討に役立てる

実施期間

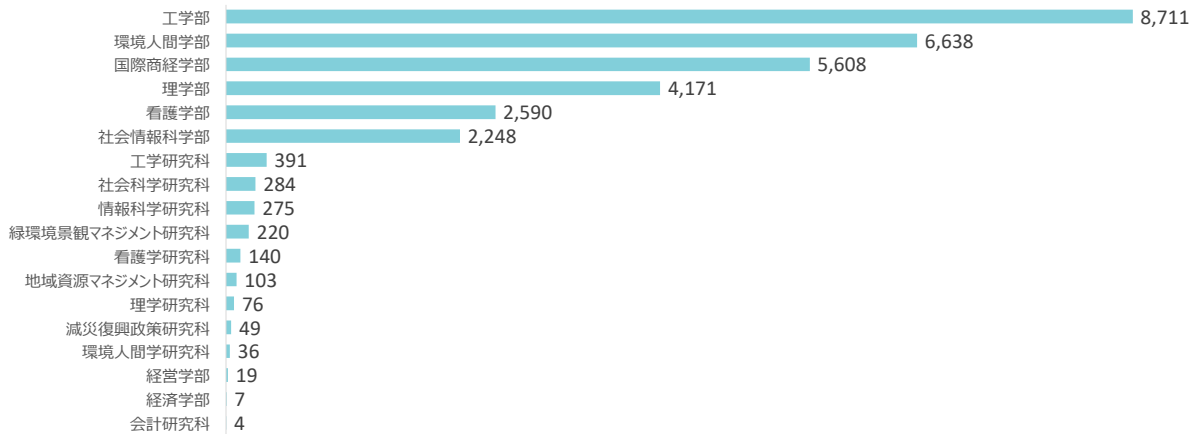
2022年
前期・後期

※各学部がアンケートを実施する授業を選定している。学部毎の設定・指示に従い、ユニバーサルパスポートにて実施（所要時間：1授業 約2分/1授業）

本調査の概要

- 授業アンケート件数は、前期52,178件、後期43,707件であった。
- 回答率は前期は**39%**（20,462件） 後期 **25%**（11,108件）であった。

学部・研究科ごとのアンケート回答件数 N=31,570件



調査項目の全体像

以下 **8項目**を対象とした学生アンケートを分析することで、**授業の実態を把握**する。

①出席率

- この授業にどの程度、出席しましたか？

②意欲

- この授業に意欲的に取り組みましたか？

③理解

- この授業の内容は理解できましたか？

④向上した能力

- この授業を履修して向上したと思う能力を選択してください

⑤シラバス遵守度

- この授業はシラバスの内容（授業の目的や計画等）と合致していましたか？

⑥授業の進め方

- この授業の進め方（話し方、板書、進行速度、配布資料など）は適切でしたか？

⑦環境

- この授業を受けるクラスの雰囲気は学習に集中する環境として適切でしたか？

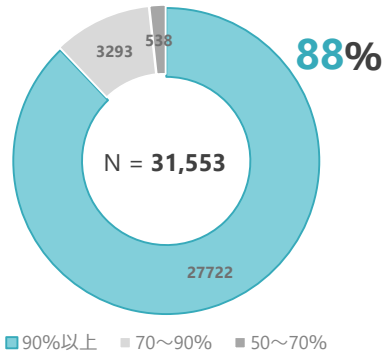
⑧満足度

- この授業に満足しましたか？

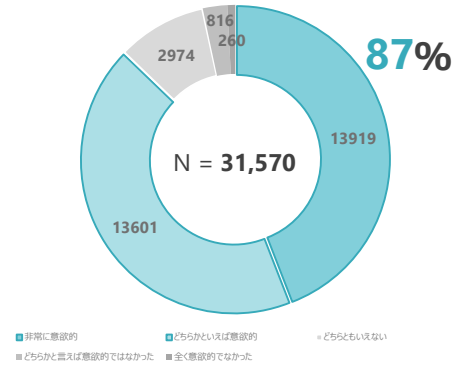
調査項目 ～①出席率、②意欲～

- 出席率に関して、学生の約**9割**がほぼ全ての授業に出席していると示された。
実態との乖離をほのめかす自由記載コメントが見受けられるため、結果には留意が必要。
- 授業に意欲的に取り組めた学生が約**9割**いる一方、そうではない学生も**1割強**存在。

①出席率



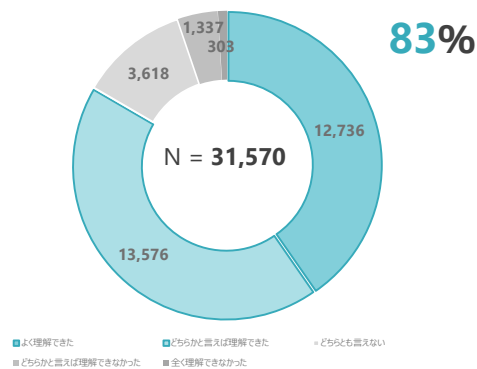
②意欲



調査項目 ～③理解～

- 「授業を理解できた」と回答する学生が約**8割**いる一方、その実感がない学生も**2割弱**存在。
- 学生の理解が不十分と推測される授業に関して、**授業の見直しが必要**であると考えられる。

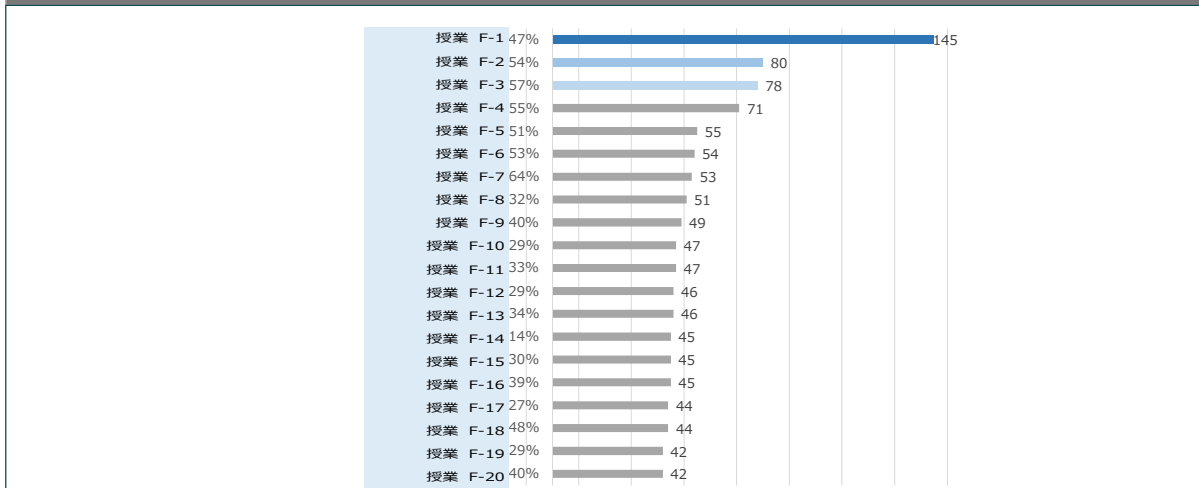
③理解



調査項目 ～③理解～（参考情報）

著しく偏りがある成績評価に関する資料 学生の自己認識≠客観的評価

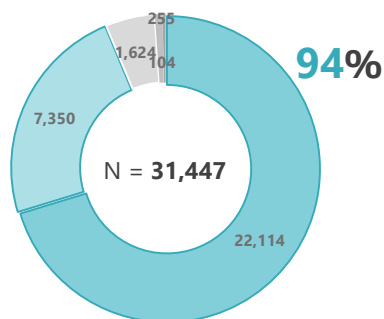
成績未取得(D評価)学生数が多い授業を抽出 %は総履修者占有



調査項目 ～⑤シラバス遵守度～

- アンケート結果から、授業はおおむねシラバスを遵守して実施されていると考えられる。
- **英語の授業に関してはシラバスとの乖離を報告するコメントが多く寄せられているため、調査及び対応が必要。**

⑤シラバス遵守度



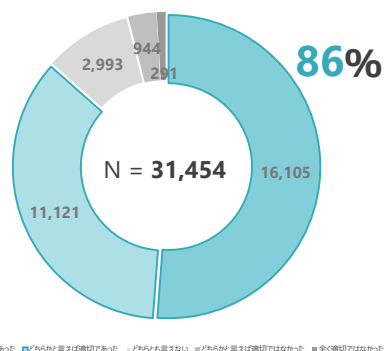
語学(英語)科目においてシラバスを遵守していないと回答した科目についての自由記載コメントあり

■ 合っていた ■ どちらかと言えば合っていた ■ どちらとも思えない ■ どちらかと言えば合っていないかった ■ 全く合っていないかった

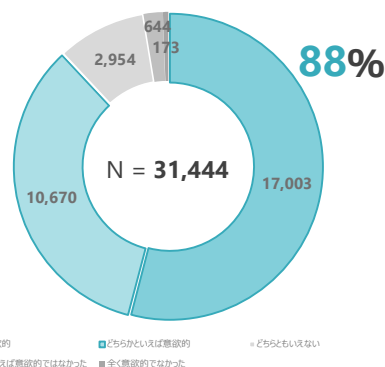
調査項目 ～⑥授業の進め方、⑦環境～

- 授業の進め方に関してはおおむね適切であると考えられるものの、学生が不満を持つ授業も散見されるため、「**質が保証された教育**」に向けたPDCAサイクルの導入が必要。
- 授業環境に関して、「教員の声が聞こえない」、「空調が悪い」、「ネット環境が悪い」等のコメントあり。

⑥授業の進め方



⑦環境



調査項目 ～⑥授業の進め方 ⑦環境 自由記載コメントから

板書

- ・モニターで板書の下の方が隠れて見えないことがあった。
- ・もう少し字を大きく書いてほしい。
- ・板書の字が見えない。多くのマジックがインク切れを起こしているように思う。

全教員に教育担当副学長より
対応依頼通達発出(2023/09)

プレゼンテーション

- ・スライドが速すぎてメモが取れない。
- ・赤いチョークは少し見にくいのであまり使わないでほしいです。

バリアフリー観点から資料作成に配慮が求められる。 <https://color.bookmarks.jp/tebiki-by-monkasyou/index.html>

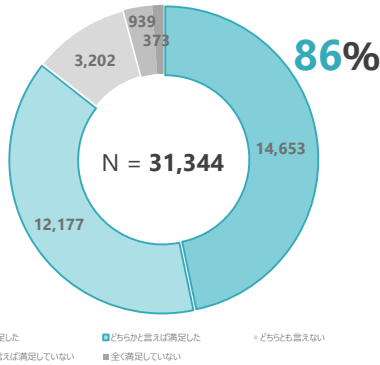
音声

- ・声が小さく聞き取りづらかったので、マイクの音量を上げてほしい
- ・結構声がマイクに通っておらず聞こえないことが多かった。

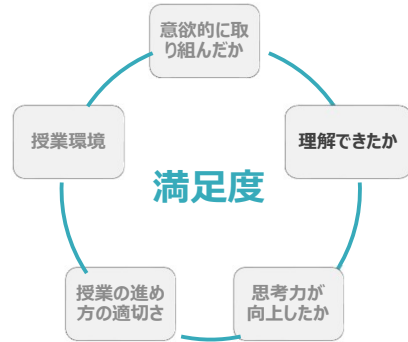
調査項目 ～⑧満足度～

■ 授業満足度に関しては、おおむね満足を得られていると考えられる。

⑧ 満足度



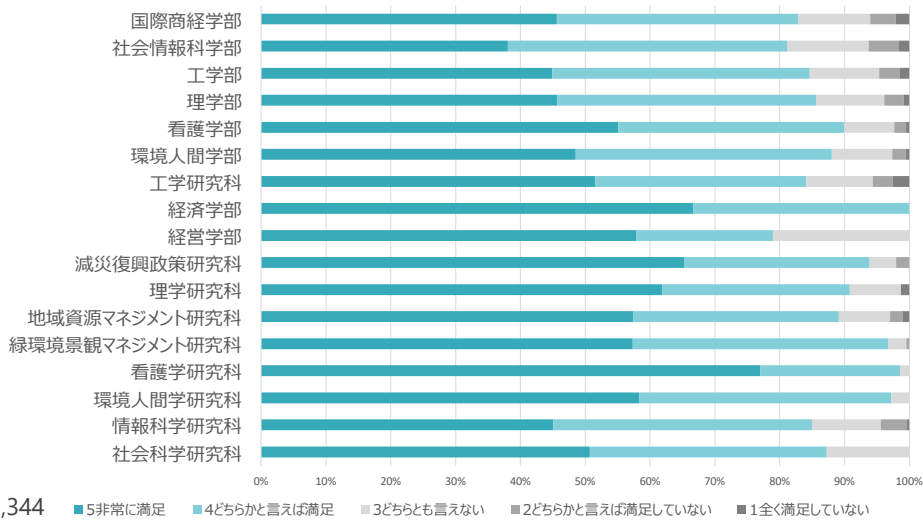
満足度に寄与する要因を重回帰分析により検討 (N=596で実施)



成績に関しては理解できたかとシラバス遵守度が寄与しているとみられる

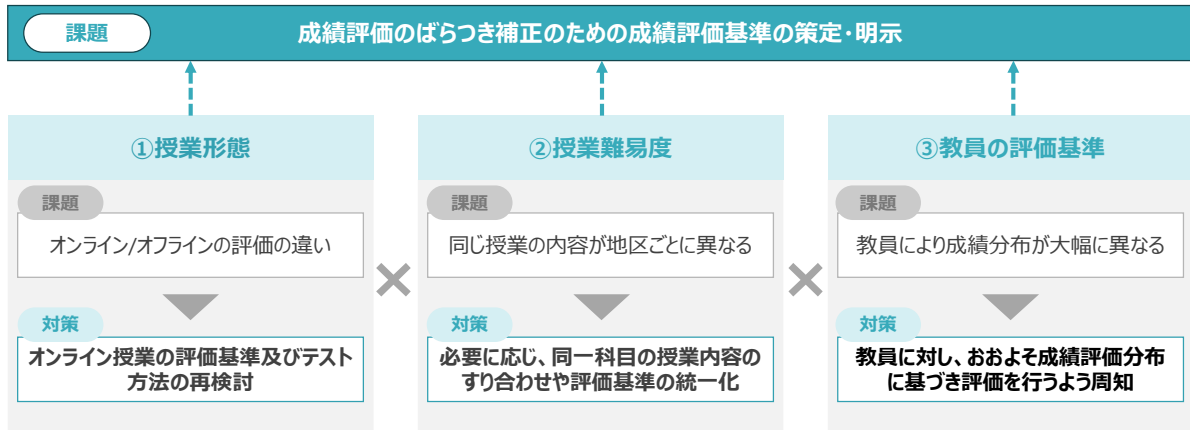
調査項目 ～⑧満足度 学部・研究科ごと～

■ 看護の満足度は大学・大学院の双方において高いことが示唆された。



課題1 ～成績評価～

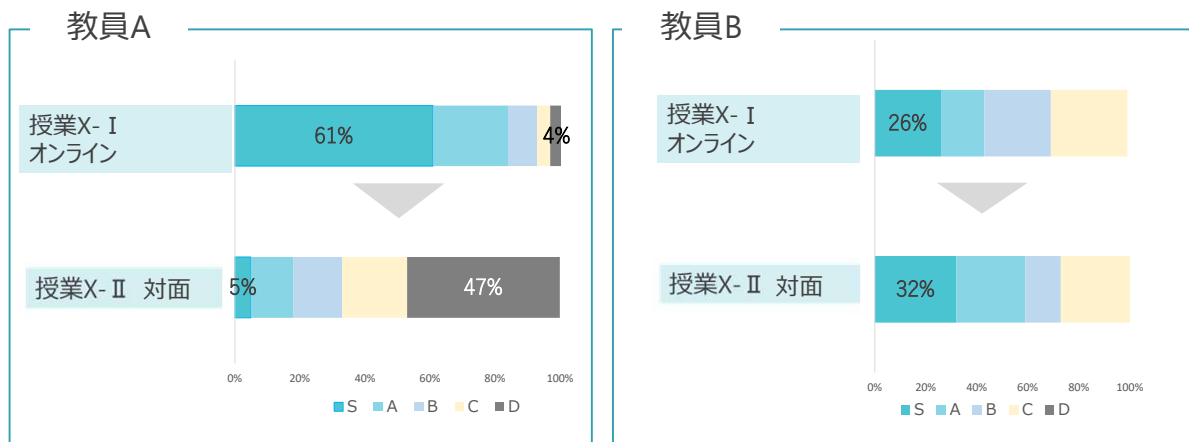
- 授業ごとの成績評価の分析を通じ、**成績評価の不平等(ばらつき)**が課題として浮かび上がる。
- **成績評価のばらつき**が生じる理由として、授業形態（オフライン/オンライン）、授業難易度、教員の価値基準などがアンケート結果から推察される。



課題1 ～成績評価～ ①授業形態～

- オンライン/対面により成績評価に違いが見られるため、授業形態に影響されない一貫した評価の実施が必要。

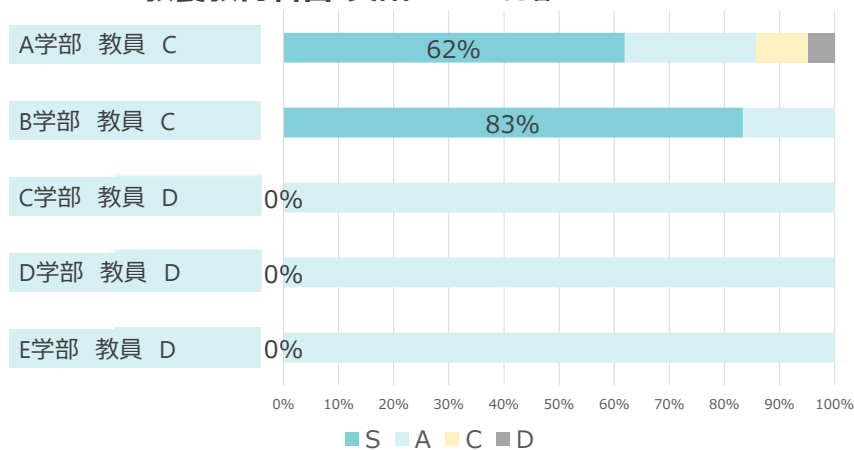
前期後期はほぼ同一履修生、必修教科の例



課題1 ～成績評価～ ②授業難易度a

- DP3 修得が実感できていないにも関わらず成績評価が高い。授業の難易度に差が生じていないかの検証が必要。

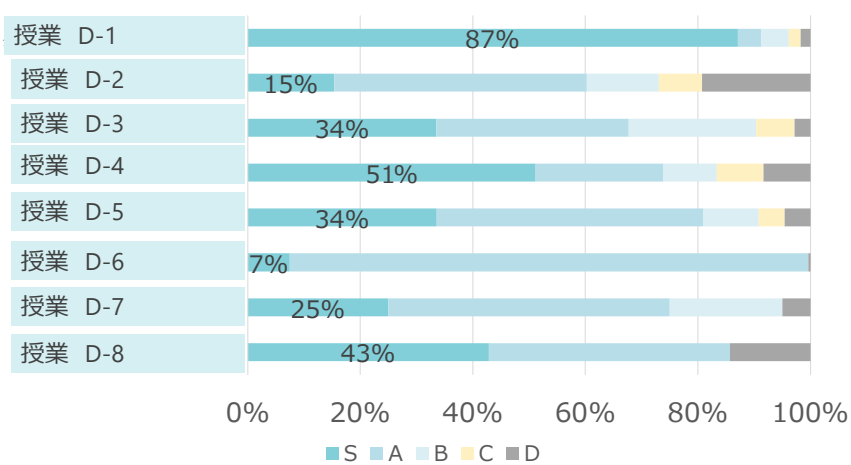
教養教育科目:英語Y N=53名



課題1 ～成績評価～ ②授業難易度b

- DPx2 修得を実感できていない卒業生の割合が高かったが、成績評価は高い

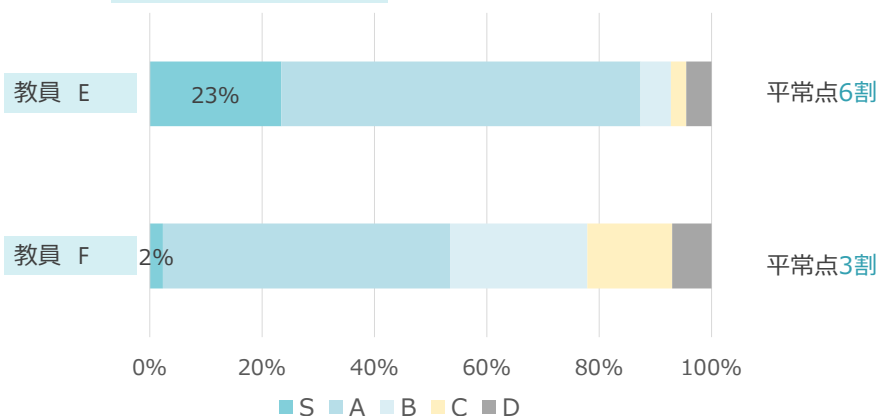
教養教育科目 DPx2 N=1,198名



課題1 ～成績評価～ ③教員の評価基準

■ 同一科目でありながら、教員により成績評価基準が異なる授業がある

教養教育科目 授業Z N=196名



課題1 ～成績評価～

■ 参考情報（中教審答申）

「学士課程教育の構築に向けて」中央教育審議会答申の概要

学術分科会(第29回)・学術研究推進部会(第22回)合同会議 平成21年1月20日 配付資料抜粋

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/siryu/attach/1247211.htm

4 成績評価

我が国の大学は成績評価が厳格化されているとは言えず、教員間の共通理解の下、到達目標や成績評価基準を明確化するとともに、GPAなどの客観的な評価システムを導入し、組織的に学修の評価を行うことが必要。

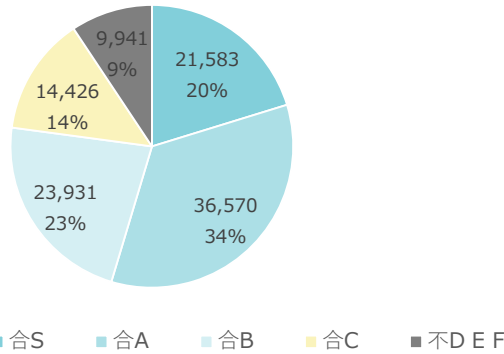
【大学に期待される取組】

- ・ 成績評価基準の策定・明示，G P A等の客観的基準の厳格な適用，多面的な評価方法の導入・活用の検討，外国語コミュニケーション能力の評価の厳格化など

課題1 ～成績評価～

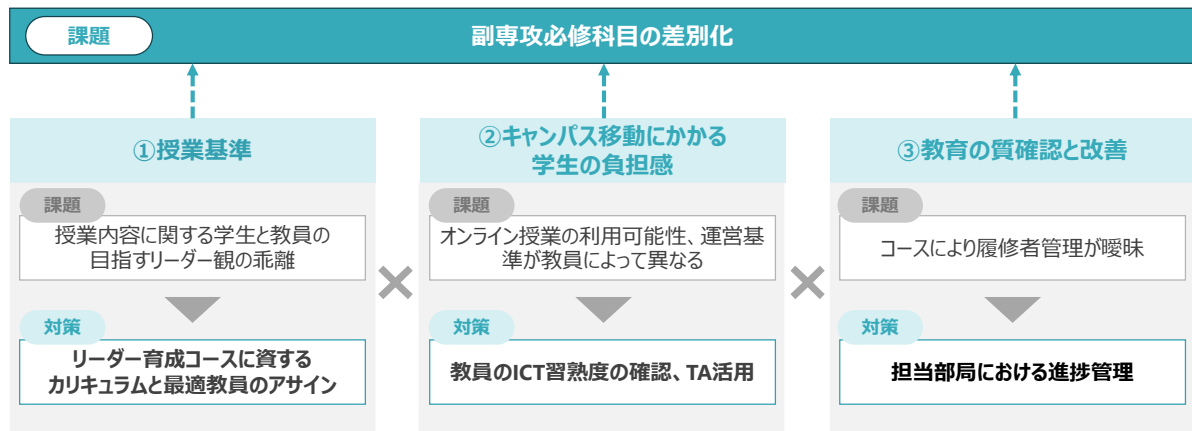
■ 参考情報（他大学の取組例と本学の評価分布）

- 北海道大学 北海道大学 成績分布WEB公開システムで、教員毎の成績評価分布状況表を公表
- 一橋大学 最上位 Grade のガイドライン
「A+及びA評価の取得者数は、A+・A・B・C評価取得者数の合計の3分の1以下とする。
また、A+評価の取得者数は、A+・A評価取得者数の合計の3分の1以下とする。」一部適用除外あり
- 神戸大学 成績評価指針3.
同一の授業科目を複数開講し、複数の教員が担当する場合は、担当教員間で成績評価基準等の調整を行うものとする。
- 本学の全評価2022



課題2 ～副専攻～

- 教養教育科目として受講できる必修科目があり、副専攻の差別化が明確でない。
- 学生により主専攻の単位取得に支障が一部発生しており、個別ケアが必要。
- 成績評価のばらつきは課題①と同様



課題3 ～授業の理解の土台への懸念解消～高校教育における修得不足科目への対応

■ 高校での未取得科目の影響について

入学前履修格差に起因する自由記載コメント例

- ・数学に弱いものからすると、とても難しく感じるため、難易度を易くして教えてほしい。
- ・シラバスには高校で数学Ⅱや物理を履修していなかった人でも歓迎すると書かれていたが、それらを履修していなければ全くわからない内容が多々あった。

課題4 ～部局における教員とのコミュニケーションとマネジメント～

■ 課題発見の際の報告・情報共有

看過し難い情報等は教務委員等部局内で報告ならびに対策が確認されているか。
学生へのフィードバックについての情報共有。

自由記載コメント 非表示

ただし、匿名性を担保して担当部局に個別対応依頼済

課題5 オンライン授業に関する自由記載コメント 抜粋

■ オンライン授業受講場所の指定に関する不満

・遠隔講義との記載でありながら、受講する為にわざわざ別の学部へ行かなければならないことと教室も指定されているのが非常に窮屈に感じた。行く学部がさらに遠くなり通学の時間が延び、交通費も通常よりもかかるため自宅から通うことが困難であった。また学内の教室では充電禁止と書かれており、持参したパソコンも四コマの講義を受けると充電が足りなくなり、その点でも教室を分けた遠隔での配慮が必要だと感じた。またその学部でグループワークや話し合いなど対面でしか行えないような活動があるわけでもないため、自宅からの受講も選択に入れるべきではないのかと考える。(姫路工学キャンパス)

■ 移動時間削減に関する肯定的意見

- ・1限が終わって移動時間がかかると間に合わない所をオンラインだと直ぐに入れるので安心できた。
- ・移動時間がなく、移動する時間にも勉強する時間が確保できる。